

桑野造船株式会社

〒520-0243 大津市堅田 1-21-2

TEL : 077-573-8001

FAX : 077-573-8002

URL : <http://www.k-boat.co.jp>

E-mail : kuwano@k-boat.co.jp

6月には全日本選手権が開催されます。今シーズンのチャンピオンを争う国内頂点のレガッタです。同時に我国のローイングの健在ぶりを内外に示す機会でもあります。日本ボート協会、参加選手、指導者、所属団体はもとよりボートに関係するすべての人たちの総合力が表れる重要なイベントと言って良いでしょう。そしてローイングの限界に挑戦する選手の姿は見る人にも感動と勇気をあたえ、芸術的でもあります。今年からアダプテブ・ローイングのエキジビションレースも始まります。桑野造船も機材製造で一端を担っているとの思いしております。新しい提案をもって会場を展示ブースを出します。是非お立ち寄りください。【古川】

未来に向かって進化

- お客さまの役にたつ存在になる -

- * 品質 品質、デザイン、価格の総て、ヨーロッパ艇を超える。品質向上でお客さまの期待に完全に応える。
- * 挑戦 仕事のやり方を変え、時代にあった会社になる。新技術、新工法にたえず挑戦。
- * スピリット 考え過ぎずやってみる。最大の工夫である時間を短縮。クルームはその日、その場で処理。

JARA チーム欧州遠征合宿最新三二情報【黄瀬】

4月からヨーロッパへ遠征していた、日本代表A1チームが一次帰国しています。3位に入賞したワールドカップ第1戦を含む、3つの大会に参加して気付いた『世界のボート事情』をスタッフの坂本さんからお聞きしました。

【オール】concept2より昨年新しく発売開始されたFat スムーシーを使用している国は少ない。大半はビッグブレードかスムーシーで、Vortex エッジなしのもの。特にビッグブレードのような峰付きの方が縦安定性が増し、技術の未熟な場合でも扱いやすいようだ。

【ボート】エンパ艇の占める割合が減ってきている。ドイツチームですら、ハドソンやフィリップを使用。他のメーカーの性能が上がってきていることに加えて、エンパ艇の価格の高さから、乗り換えるチームが増えていると考えられる。

また、リガーに関してはスイープ種目でアルミウィング、スカル種目でカーボンチューブを取り入れている国が目立った

【世界の強豪】今回の遠征ではドイツと、北京五輪を控えた中国の強さが目立った。参加各国ともまだ選手選考中で、完成度はまだまだ低い。世界選手権に向けて、どこまで調整してくるかが見物。武田選手は世界でも注目される軽量級選手の一人だということで、どの種目でも出場するかをリサーチされることも多いとのこと。



良いボートコースは選手のひと声で【岩佐】

<距離表示板の例> ボートコースはコースを管理している都道府県、又は市町村が作りますが、より良い選手の目線でのコース作り、それは選手の皆さんが一声発言していただけますと、規則も変わってきます。

日頃、皆さんは「距離表示板」に何か気付きませんか。規則では“250mピッチに本部の反対側の片方に設置する”となっています。1000mのコースですと、250m、500m、750mになります。この距離表示、100mピッチだといいなあと思われませんか。今年の兵庫国体の円山川コースでは100mおきに、しかも両側に表示されます。(昨年7月の全日本社会人選手権でも表示) 100mおき両側の距離表示、選手に親切、やさしい表示かと思えます。一度漕いでみてください。

お知らせ

*全日本選手権 出展情報

6月8日～11日に埼玉県戸田ボートコースで開催される全日本選手権に於いて、桑野造船の高級レース艇(A1とMedalist)を展示いたします。場所は観覧席裏の予定です。会場にお越しの際は、是非お立ち寄りください。

[A1] 純国内生産モデルの高級レース艇です。海名ブランド艇より剛性値も高く、細かなご注文にも対応可能です。

全日本選手権で武田大作選手(ダイキ)にも使用していただく予定のモデルです。

[Medalist] プリプレグカーボンを使用した軽くて強い最先端のボートです。排水機能など独自の工夫も満載です。

*中古艇情報(予定)

今後行われる全日本ジュニア選手権、および滋賀インターハイで使用するレンタルボートを中古艇として販売する予定です。詳細は後日発表させていただきますが、数に限りがございますのでおはやめにお問合せ下さい。(全日本 Jr: A1, A2-OR, Medalist の 1X 1H: 規格艇男女 1X, 2X, 4X+)

*ドラゴンボート用エルゴを試作

ローイングエルゴを利用したドラゴンボート用のエルゴを試作しました。負荷の違いが予想外に大きくインピーダンスの調整等独自の工夫をしました。今後、カヌーエルゴにも発展させる予定です。



BOAT TIMES の配信停止をご希望される方は、お手数ですが FAX (077-573-8002) 又は E-Mail (kuwano@k-boat.co.jp) で当社までご連絡下さい。また、ご意見・ご感想などもお待ちしております。

お手数ですがボート関係者へお渡しをお願いいたします。